

平成25年第7回沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成25年7月23日（火）午後1時30分～午後2時35分

2 場 所 沼津市立沼津高等学校 求道館 学習室

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（久松委員 細沼委員）

(2) 前回会議録の承認（土屋委員 久松委員）

(3) 議 案

議第13号 平成26年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書の採択について

(4) 協 議

な し

(5) 報 告

1) 平成25年度沼津市奨学生の決定について

2) 「静岡県東部ふれあい体験塾」について

3) 「高校生しゃべり場inぬまづ」について

(6) そ の 他

1) 事務点検評価について

4 出席者等

委員長 三好勝晴、委員長職務代理者 土屋葉子、委員 久松但、委員 細沼早希子
教育長 工藤達朗、教育次長 工藤浩史、教育指導監兼学校教育課長 鈴木珠美、
教育企画室長 井原正利、学校管理課長 塩崎滋、教職員研修センター所長 神谷修
生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長 宮下義雄、
青少年教育センター所長 相磯幸代、少年自然の家所長 高梨信
市立高校事務長 田辺稔恵、図書館事務長 岩崎克己、スポーツ振興課長兼
勤労者体育センター所長 山崎賢一、文化振興課長 勝又 恵三、
教育委員会調整担当 新井寿明、教育企画室主任 宇佐美利香、教育企画室主事 石渡輔

5 会 議

三好委員長が午後1時30分、開会を宣言する。

三好委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 なし

三好委員長より、会議録署名人に久松委員、細沼委員を指名する。

6 教育長挨拶

市立高で定例会を行うのは初めてですが、この求道館は完成2年目の施設ですので、この後、施設をぜひ見学していただきたいと思います。合宿をしたり勉強をしたり有効に活用をしています。

御存じのとおり富士山が世界文化遺産になり、7月12日に記念パーティーが東京の帝国ホテルで行われ、委員である私が出席しました。帝国ホテルの一室で行われ、各界から7~800人が集まりました。もちろん、山梨県知事、静岡県知事、県議会議員等多数見えていました。最初に、中曽根元総理大臣や安倍総理夫人が挨拶をし、活気に満ちたパーティーで

した。柔道の山下選手などの有名人も多数来ていました。沼津市では、富士山の日を設け、学校を休みにし、改めて富士山を感じるという試みを始めた市ですので、身近ではありますが、世界文化遺産にも登録されたことですし、改めて富士山のすばらしさを子どもたちに伝えていかなければならないと思っています。

蛇足ですが、以前、新幹線で大阪から帰ってくる時に、ある家族が静岡で富士山が見えるから、こちら側に座ろうと言っていたのを今でも思い出します。我々にとっては、なじみ深いですが、それくらい貴重で、富士山を見た人が喜んでいる姿を見ると、改めて偉大さを感じます。

本日はよろしくお願いいたします。

<議 案>

議第13号 平成26年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書採択について
(市立高校長 資料に基づき説明)

- 三好委員長 本件について意見等がありますか。
- 細沼委員 先ほど、別室で教科書を拝見させていただいた。カラー印刷で、大変わかりやすいと感じた。
- 土屋委員 教科書の採択に関して、他の県立高校と比較して、市立高の特徴はあるか。
- 市立高校長 学校によって、在学する生徒の属性・個性等が異なり、それによって各学校は教科書を選択している。その点言えば、本校では、幅の広い学力、進路が多岐にわたるといった属性・個性があるので、それに合わせて教科書を選択している。
- 三好委員長 幅広い学力の生徒がいるということは、様々な面で難しいと思う。少し話はかわるが、市立高という学校がどういう特徴を持ち、何を狙っているのかということについて、沼津市が管理する学校なので、色々な方が注目していると思う。教科書採択からもわかるかもしれないが、その特徴を伺いたい。
- 教育長 市立高の校長から説明があったとおり、市立高校は多様な子どもが通う学校なので、教科書については、高いレベルを目指す子どもにはそれなりの教科書を、また、就職したいという子どもにも対応できるようにかえた。そこが、進学や就職に絞った学校との教科書採択における違い。多様な子どもたちに対応するように色々な教科書を使用している。高校の場合は、実費で教科書を購入する。したがって、県立高校でも教科書は異なり、それぞれの学校の生徒に合わせて選んでいる。国語の教科書なら国語専門の先生が10人くらいいると思うので、その先生たちが集まって決める。副読本についても同様に決める。一方、小中学校については、教科書は国から無償で提供される。このため、縛りがある。文科省の縛りである検定教科書はもちろんだが、教科書によっては7～8社が出版している。その中でどの教科書を使用するかについては、沼津市だけでは決められない。静岡県を11のブロックに分け、その11のブロックは同じ教科書を使用する。沼津市は、裾野市、御殿場市、清水町、長泉町、小山町からなるブロックに属している。ここで、協議会を作り、教科書を決めて、それぞれの教育委員会に諮り、4年間その教科書を使用する。したがって、ブロック内で子どもが転校等した場合には、同様の教科書を使用するが、例えば、三島に転校すると教科書がかわってしまうということが充分あり得る。
- 三好委員長 高校でもグランドデザインを作成するのか。
- 教育長 作成する。市立高でもグランドデザインを作成している。
- 三好委員長 その他何もなければ、本件は異議なく可決としてよいか。
- 委員 異議なし
- 三好委員長 議第13号は原案どおり可決する。

<報 告>

1) 平成25年度沼津市奨学生の決定について

(学校管理課長 資料に基づき説明)

- 三好委員長 本件について意見等がありますか。
- 本年度、選考の際に同点が3名おり、給与生が一人増えて11人になったという話だったが、同点の生徒の人数がもっと多かった場合にはどうするのか。
- 学校管理課長 予算の状況を勘案しながら、可能な範囲で行う。数が多すぎる場合には、何らかの方法でさらに選考を行う。
- 三好委員長 これらの財源はすべて寄付金なのか。財政の中で基金があるのか。
- 学校管理課長 基金があり、条例がある。その中で、基金は一般会計からの繰り入れとその他の収入（利息）で運用してよいことになっている。したがって、現在は寄付をいただき、給与の一部としているが、その金額も多くは見込めないため、10数年くらいすると基金の残高も厳しくなる。そうなると一般会計からの繰り入れ等を検討していかなければならないと思う。
- 細沼委員 寄付金は毎年あるのか。
- 学校管理課長 現在のところ毎年あるが、金額は一定ではない。主にふるさと納税等で、沼津市に寄付してくださる方が数名いる。平均すると15万～30万円程になる。
- 三好委員長 その他意見もないようなので、本件は報告を受けたということでした承願いたします。

2) 「静岡県東部ふれあい体験塾」について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 三好委員長 本件について意見等がありますか。
人数が減っているようだが、昨年度の参加者を教えていただきたい。
- 生涯学習課長 昨年度の参加者は49名だった。
- 三好委員長 定員65名のうち49名出席ということか。
- 生涯学習課長 各市町の割当があり、沼津市は、27名の割当に対し、当初24名の応募があった。そのうち、事前研修の直前にキャンセルした者も含め、5名がキャンセルした。
- 三好委員長 昨年度の沼津市からの出席者数を教えていただきたい。
- 生涯学習課長 今年同様19名が参加した。
- 土屋委員 昨年度参加して良かったから、今年も参加したいという希望者はいるか。
- 生涯学習課長 各市町でリピーターがいる。今回はキャンセルした人も含め9名がリピーターだった。
- 三好委員長 年齢幅はどうなっているか。
- 生涯学習課長 1・2年生が多く、3年生が少ない。
- 三好委員長 行政は、一人あたりいくら負担をしているか。
- 生涯学習課長 まだ事業を実施していないので確定していないが、今回は、一人あたり9万5千円前後になると思うので、一人あたり6万円程度行政が負担している。
- 三好委員長 事業仕分けに伴い、研修地を変更したが、あまり効果が見られないのでは。
- 生涯学習課長 子どもたちが普段できない体験をすることができ、事業そのものの効果は高いと考えている。しかし、事業仕分けにより、できるだけ多くの生徒に参加してもらう方策を考えたらどうかという指摘を受けて負担金についても金額を抑えて設定したが、逆に、手を挙げる方が減ってしまったのかもしれない。
- 三好委員長 船での研修は、普段できないので、参加希望者が多かったのに対し、今回の研修は、自分たちでも経験できるということかもしれない。
その他意見もないようなので、本件は報告を受けたということで了承願います。

3) 「高校生しゃべり場inぬまづ」について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 三好委員長 本件について意見等がありますか。
- 久松委員 表彰等を行うのか。
- 生涯学習課長 一人一人の発表ではなく、自由に語り合うので、優劣ではない。
- 三好委員長 NHKの番組でやっているものと同様か。
- 生涯学習課長 同様のもの。机もなくして、ひざを突き合わせて行う。
- 三好委員長 初めての試みか。
- 生涯学習課長 パネルディスカッション形式のものはやったことがあるが、今回の形式では初めて行う。
- 三好委員長 マスコミは入れないのか。

- 生涯学習課長 投げ込み等を行うので、マスコミが興味を持てば、取材に来ていただける。
- 三好委員長 例えば、ケーブルテレビ等を積極的に利用して、ただ13人の子どもたちが話しているというのではなく、最近の子どもたちがどうのことを話しているかを周りが聞くというような場としたらどうか。
- 生涯学習課長 広報にも掲載し、市民の皆様自由に出席していただけるようにしたいと考えている。初めてのことなので、詳細については、今回やってみて、次回に活かしたいと考えている。
- 三好委員長 生涯学習課で企画したのか。非常におもしろい試み。
- 生涯学習課長 はい。ありがとうございます。
- 細沼委員 参加者はどのように選んだのか。
- 生涯学習課長 各学校から一人選んで出席していただく。初めは、各校2人という話もあったが、多すぎて自由に話ができないだろうと思い、一人を推薦してもらう形にした。推薦の方法については、各学校に任せた。立候補かもしれないし、学校の先生からの推薦かもしれない。
- 三好委員長 テーマはいくつか設けてあるのか。
- 生涯学習課長 テーマは一つで、『「脱皮しようNUMAZU！ チャンスは巳歳の・・・今でしょ」～わたしたちが「今」 沼津に欲しいものは！？～』。ものというのは、ハードでもソフトでも構わない。参加者が高校生で、年齢層も同じで、沼津市外から来る人もいる。部活も運動部・文化部それぞれいる。できるだけ皆が自由に発言できるようなテーマを設定した。
- 三好委員長 高校生の視点から沼津を見て、足りないものや良いところを聞き、そこから何か行政が動くということも考えられるのか。
- 生涯学習課長 可能性はある。しかし、その場で行政が回答したり、その会話の中に入り込むということは避けたい。なるべく自由な発言をしてもらいたい。
- 三好委員長 先ほど話したNHKの番組は、テーマもテレビでやっていいのかというような厳しい内容もあったと記憶している。今回の話は、沼津を考えてもらうために高校生を呼んだということではないのか。
- 生涯学習課長 わたしの主張で発言するのは中学生で、まだ中学生だが、もう中学生ともとれる素晴らしい主張もある。私は自分の子を育ててきたが、実際に青少年がどのように考えているか等、大人も把握しきれていないのではないかと思う。だから今回のように、現実を大人が把握できる場も必要。そこから青少年の健全育成が始まる。テーマは後からつけたと考えていただきたい。
- 三好委員長 その他意見もないようなので、本件は報告を受けたということで了承願います。

<その他>

1) 事務点検評価について

(教育企画室長 資料に基づき説明)

- 三好委員長 次回は8月22日の開催となる。
他になければ以上で閉会とする。

午後2時35分 閉会